

### 東海第二発電所の手動停止について

当社、東海第二発電所(沸騰水型軽水炉、電気出力110万キロワット)は、定格出力で運転中のところ、2台ある原子炉再循環ポンプのうち1台(A号機)の軸封部(メカニカルシール)でシール水のシールリーク流量に増加傾向が認められました。直ちに原子炉を停止する必要はありませんが、今後当該ポンプのシール機能の低下につながる可能性があることから、点検・調査を実施することとし、本日12時から出力降下を開始し、原子炉を手動停止することとしました。なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以上

---

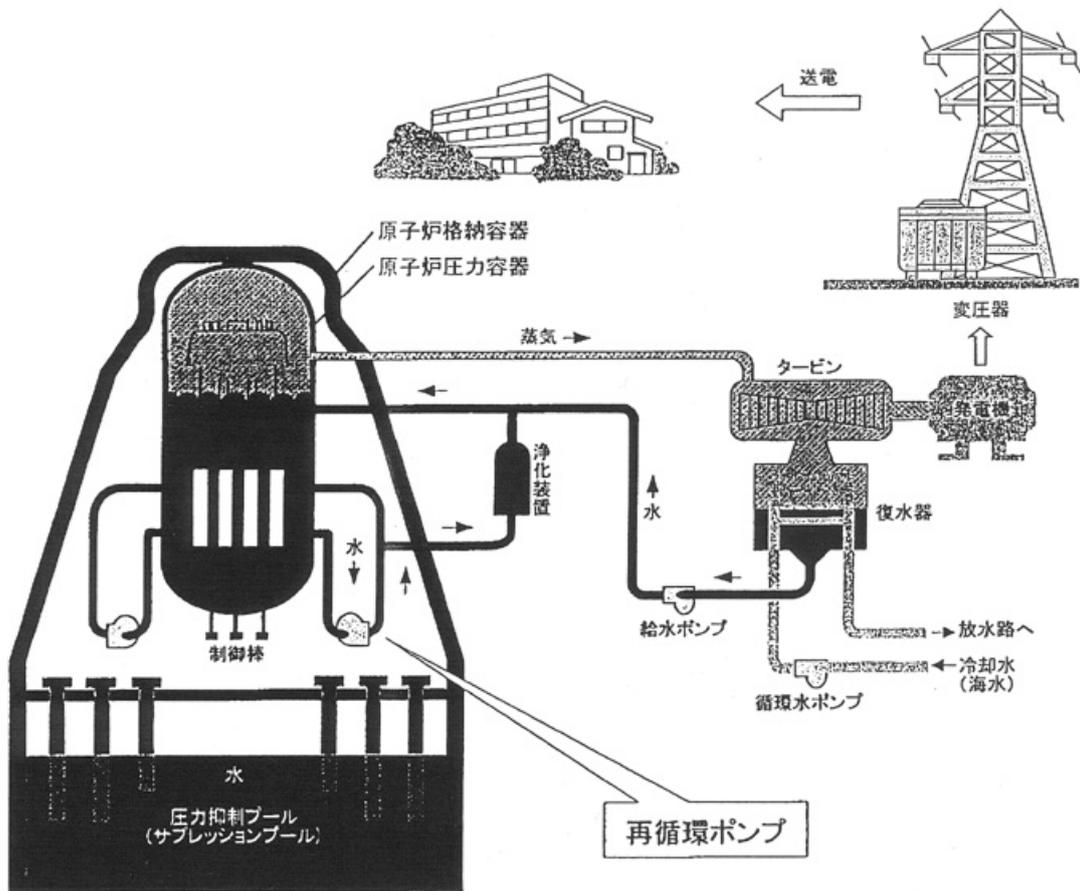
(通商産業省によるINESの暫定評価尺度)

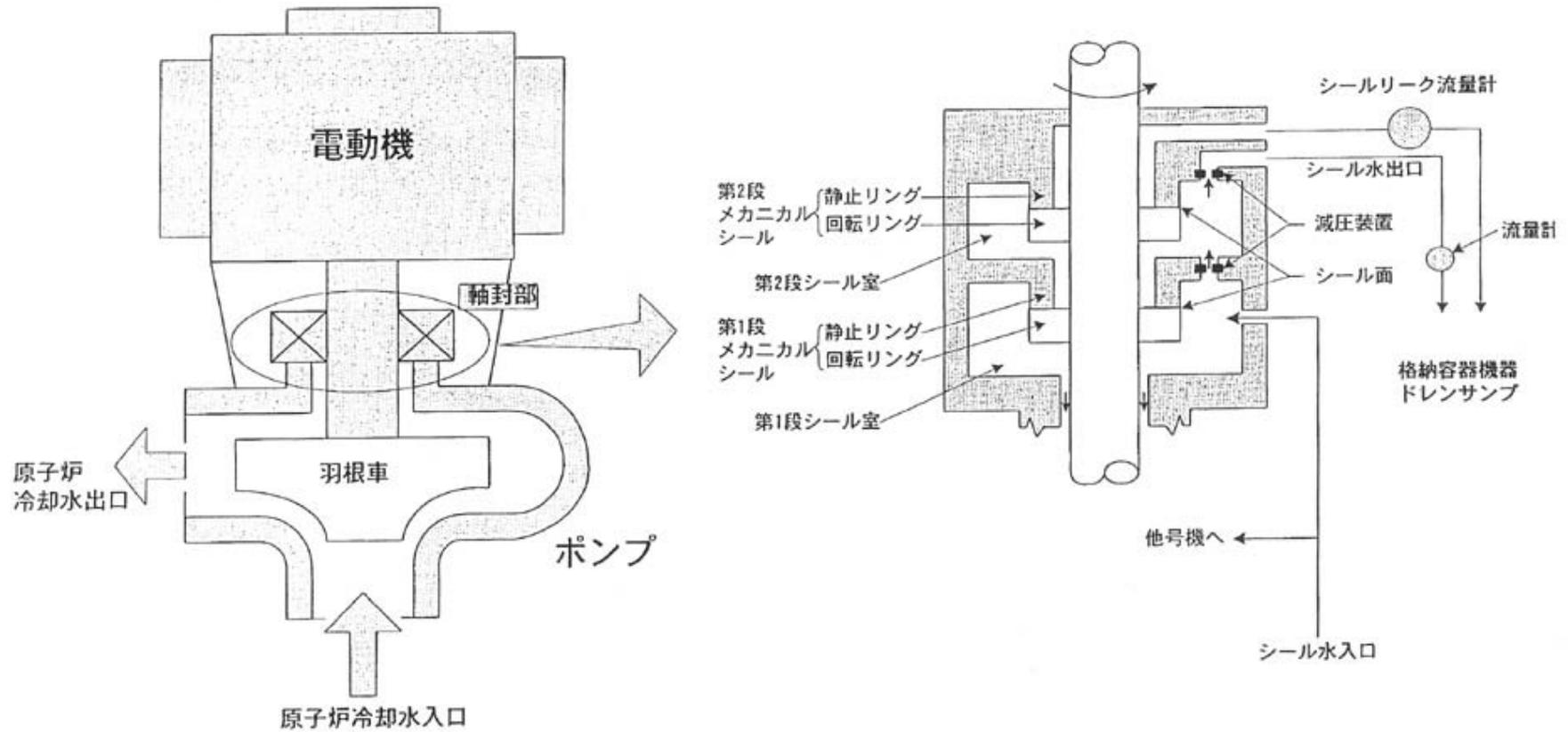
基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

---

添付資料1 東海第二発電所 主要系統概要  
添付資料2 原子炉再循環ポンプ軸封部概略図

### 東海第二発電所 主要系統概略





原子炉再循環ポンプ軸封部概略図